



ロータリー:
変化をもたらす

国際ロータリー第2500地区第3分区
Asahikawa Morning Rotary Club
旭川モーニングロータリークラブ会報



ホームページ <http://www.asahikawamrc.com/>

9月の月間テーマ 基本教育と識字率向上月間
本日の例会プログラム 委員会スピーチ

第1142例会 No.10

平成29年9月14日(木) AM7:30~

場所 アートホテル旭川 2F ロアーン



会長挨拶

安井 裕子 会長

江戸時代の女性は
社会進出していた。

昭和の時代まで日本
女性は3歩下がって
男性の後をついて行
く、と言うイメージで
語られてきました。し
かし日本は以外にも

女性の社会進出には寛容な国だったのです。

例えば、平安時代の女流文学。世界の歴史を見渡しても女性に読み書きを教える文化は殆どなく18世紀のバリでも女性の識字率は非常に低かったのです。それに対して紫式部の源氏物語、清少納言の枕草子など、平安時代にこれだけの女流文学が登場した事は極めて貴重です。貴族の女性は和歌が読めなければ恋愛もできませんでした。鎌倉時代には地頭という地域の支配者に女性が任命されたし戦国末期には女性の城主が何人もいた。

大河ドラマでおなじみの井伊直虎だけじゃないんです。江戸時代の寺子屋の先生も3分の1は女性でした。江戸庶民のあいだでは女の子向けの「出世すごろく」が流行しました。芸事や教養を身につけて、最後はお殿様に見初められるというものです。將軍の妻とまではいなくても、例えば商家に嫁ぐのにも、読み書きそろばんは必須でした。商家のおかみさんが手紙をしたためる場面は歌舞伎にも登場します。このように日本は歴史的に見てみると古くから女性に教養が求められる社会だった事は間違いありません。

その風向きが変わったのは、江戸時代中期の事。儒教がひろまっていくにつれ、男尊女卑的な考え方が台頭します。なかでも貝原益軒の「女大学」と言う教訓書が広く普及した事は女性の生き方に大いに影響を与えました。

「幼にしては父兄に従い、嫁しては夫に従い、老いては子に従う」という三従の教えに代表される封建的な考え方に支配されるようになっていったのです。歴史に「たら、れば」は禁物ですが、もしも女大学がなければ日

本女性はもっと早くに社会進出していたかもしれません。

しかし日本の長い歴史を振り返れば、女性が男性の後ろに置かれる様になったのはごく最近の話に過ぎない。その事はぜひ覚えておいてくださいね。



会務報告

井上 雄樹 幹事

- 1) 一般社団法人ロータリーの友事務所より、
 - ① 公共イメージ向上のための広報誌 並びに「ROTARY ロータリー 世界と日本(第10版)」A5判16ページ 1セット(10冊)540円

送料別 収受。

- ② 会員勧誘のための広報誌

「ROTARY あなたも新しい風に(第9版)」 収受。

B5判12ページ 1セット (5冊) 432円 送料別

- 2) 国際ロータリー第2650地区京都モーニングロータリークラブより、会報No.897~899 収受。



◆ニコニコボックス◆

坂本 信一 親睦委員長

笹川 和廣 この度私の健康管理が悪く副幹事の交代をお願いしました。会計は全うしようと思っていますので、よろしくお願い致します。

竹村 陽子 ネームプレートを持ち帰りましたので。

桑原 義彦 先日当社での星空コンサート、おかげさまで盛会に終わることができました。今年が一番多くの方が来場してくれました。ありがとうございました。

ニコニコボックス 9月14日 3件 6,000円
年度累計金額 93,000円



会員スピーチ
小川 伸治 会員

**次世代に向けて！
魅力ある会社作りを！**

昨今、事業を次世代に引き継ぐことが、非常に難しくなっています。うまく世代交代ができず、廃業するという話を数多く聞きます。

昭和58年には企業寿命30年と言われてきましたが、今は5年～10年と言われております。この不況の中、売上が激減し、息子にこんな会社継ぎたくないといわれてしまい悩む社長も多いです。後継者がいるという会社が35%しかないというのが現状なのです。この数字は社長にとって育てた会社を引き継ぐことがいかに難しいかを物語っています。

では、なぜ世代交代に失敗するのでしょうか？

- ・後継者選択の誤り
- ・承継時期の誤り
- ・企業価値の見誤り
- ・認識不足・準備不足

一般的には、親として子供は平等にかわいいものですが、事業承継においてはその考えは悪くなってしまいます。

株式を子供に平等に分けることにより、後継社長の思うような経営ができないどころか、後継社長の地位すら脅かされるという不安定な経営になってしまい、元も子もありません。

後継者を決めても、育成するのに5年はかかると言われています。後継者育成については、父親の育った環境、子の育った環境は異なるため、考え方の相違、立場の相違が表面化してきます。お互いが共に理解し、尊重することが必要になってくるでしょう。

父親である社長は、子は周りから、ルールの上を走って当然と思われてしまう立場であるということを知っておくべきであるし、子は自分の存在価値を示すために過去を否定するのではなく、親を立てて敬意、報告することが必要でしょう。

創業者である親がワンマンで、子が親に反発して独立してしまったり、会社の魅力を伝えられず、子が退職してし

まっては失敗です。失敗してしまったあとで、後悔しても遅いのです。

銀行の融資を受けている場合も注意が必要です。社長から後継者に継がせたが、銀行から、融資がこれまで通りスムーズに行われるかどうか…なんて言われてしまっは、折角の事業承継も水の泡です。当然、事前の対策が必要です。

100年続く企業にするためには、事業承継は避けて通れません。

スムーズに後継者へ引き継げるよう、早めの対策を心がけましょう。



小川社長哲学

若い後継者には
「夢・あこがれ」が必要
たとえばこのクルマのような
(スピーチメモより)



| 出席報告 小林睦明 親睦委員 | |
|----------------|---|
| 本日の出席 | 第1142回例会 総員24名 9月14日 出席20名 出席率 83.33% |
| 修正出席 | 第1140回例会 総員24名 8月31日 修正出席19名 修正出席率 79.17% |
| ビジター | ございません |
| メイクアップ | 9月2・3日 井上 雄樹・高見 一典(地区ライラセミナー) 9月12日 武田 昭宏(旭川西RC) 9月12日 武田 昭宏(旭川北RC) |

「ライラセミナー報告書」

井上 雄樹 幹事

去る平成29年9月2日(土)～3日(日)、稚内市の稚内サンホテルでRI第2500地区2017～2018年度ライラセミナーが開催されました。

今年のテーマは、「日本のてっぺんから地球未来の『環境』を考える!」でありました。

旭川モーニングロータリークラブからは、研修生として、イハラ消防設備(株)の影本さんと小野寺さん、ひかり福祉事業グループの穴戸さんの3名と、ロータリアンとして、高見青少年奉仕委員長と幹事の井上が参加しました。全体の参加者は、研修生76名、ロータリアン55名でした。

タイトなスケジュールの中、開講式、全体での記念撮影に引き続き、稚内市内の視察が行われました。

まず、1か所目に視察したのは、自然冷熱を利用した「勇知いも」(稚内近郊で獲れるいも)のことで他のいもに比べて糖度が高く菓子用などにも

用いられるとのこと)の貯蔵施設です。この施設は、冬季に自然の寒さを利用して貯蔵庫内に氷を作り、夏の間の貯蔵庫の温度を低く保つことで勇知いもを熟成させ糖度を上げておいしく



することができるそうです。この日はとても天気がよく、この施設の近くの海の向こうには隣国ロシアのサハリンの島影が見えました。

2か所目に視察したのは、車内から遠く見る形になりましたが、宗谷丘陵地帯の風力発電所です。稚内市は年間を通して風が強く、従来は強風に悩まされてきましたが、今はこれを逆手にとって風力発電が盛んな地域となっており、最近も新たな発電所の建設が続いているとのことでした。

3か所目はメガソーラー発電所です。もともとは、実験施設だったそうです。なぜ稚内が選ばれたかという、稚内は積雪、寒冷、強風などの厳しい環境がそろっており、これらの厳しい条件をクリアできるかどうかを検証するのに適していたからだそうです。平成23年に稚内市が無償譲渡を受け、現在は市営の発電所として運営されています。発電所の向かいにある野球場はナイター設備も含めて発電

所由来の電気100%で運営されており、日本一環境にやさしい野球場だそうです。

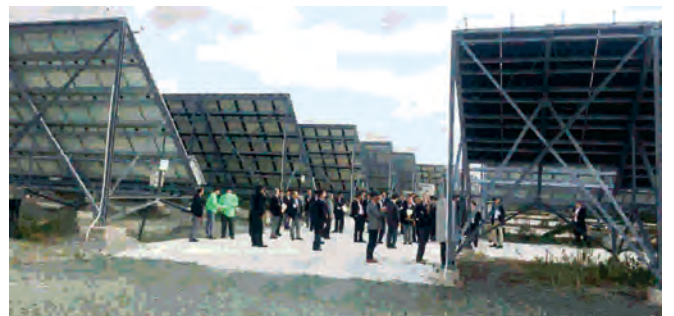
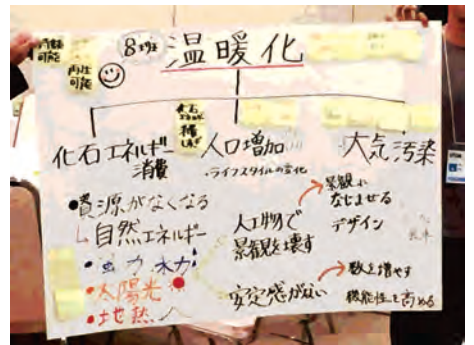
あわただしく視察を終えて、ホテルに戻った後は、稚内市職員で第52次南極地域観測隊越冬隊員として南極に派遣された市川正和さんの講演がありました。市川さんの講演は市川さん自身が撮影した基地の撮影やほかの隊員の方が撮影した貴重な映像をふんだんに使い、南極での暮らしや南極での観測が環境の変化を探るために重要であることをわかりやすく解説されていました。

市川さんの講演後は、短い休憩の後、研修生によるグループディスカッションが行われました。グループディスカッションは、ブレイン・ストーミングやKJ法といった議論の方法を使って、効率よく活発な議論がなされていたように思います。途中夕食を挟み、ディスカッションは午後10時ころまで続けました。

翌朝、研修生の皆さんは朝食後に感想文の執筆や全体会議、各グループの意見発表と続けました。それぞれのグループの発表からは、2日間のとても濃厚な視察と議論の内容がうかがわれました。

タイトなスケジュールでしたが、とても充実した研修であったと思います。

参加された研修生の皆さんお疲れさまでした。





受付 小林 坂本 林(敦美)



宮永 笹川 渡邊



林(雅美) 井上



竹澤 小川 桑原



小柳 竹村



石川 小林



木村 今井 福居



四つのテスト 小林